

教育目標 主体性をもち 心豊かにたくましく生きる子供の育成

<ビジョン①> 目指す学校像

誰もが明日も来たくなる、安心して自分らしく学び、過ごせるたのしい学校
～子供が主人公の「まあいい学校」～

<ビジョン②> 目指す子供像（学校と家庭、地域が一体となって育む力と心）



<向上目標（アクションプラン：AP）>

- AP1：出席率 98%の維持 学校がたのしいと感じる子供 85%（たのしい学校づくり）
- AP2：学ぶことがたのしいと感じる子供 85%（学びを深める力・進んで人とつながる力）
- AP3：自ら生活・運動習慣をつくり上げる子供を増やす

<具体的方策・重点とする取組>

○子供を主人公とした活動

- ・子供発の活動を推進する
- ・子供との対話を重視する（教育相談の充実・子供理解）

○子供の余白づくり

- ・休み時間を保障する
- ・無理のない学校行事や活動の企画・運営を進める

○体力向上のための運動習慣の確立

- ・外遊びを推奨する
- ・目当てをもって取り組む体力づくりの場を設定する

○子供が思考し、深い学びを実現する授業改善

- ・試行錯誤と振り返りのある授業
- ・一人一人に応じた多様な学び方の習得を図る（個別最適）
- ・聴き合い、学び合いを進んで取り入れる（協働的）

○基礎的・基本的知識・技能の習得

- ・意図的、計画的に定着を図る場を設定する（スキルタイム）
- ・家庭・地域と連携し、基礎となる生活力、学習習慣を育む

○自己存在感（自分らしくいられる感覚）の醸成

- ・一人一人の違いを感じ、受け入れる心を育てる（道徳教育）
- ・一人一人の持ち味が生きる活動を工夫する

○人・もの・こととのかわりる学習・活動

- ・異学年交流（縦割り班活動）を充実させる（四つ葉タイム）
- ・体験的な活動（人と触れ合う活動）を充実させる
- ・地域人材を積極的に活用する（学校運営協議会）

<ビジョン③> 目指す教師像

- 子供と共に**学び続ける**教師（主体的に学ぶ・継続的な授業改善）
- 子供を認め、**寄り添う**教師（子供の自己実現のための伴走者 「教えるから育てる」へ）
- チームとして**協働性を発揮する**教師（チーム月岡小）